

マルコの蔵に名曲が響く…… 音楽イベント「夏空2026」

6月25日、マルコの蔵で「夏空2026」が開催され、町内外から約60名が来場しました。ヴァイオリニストの亀馬さん、ピアニストの田口奈々子さんが出演し、約12曲が披露されると会場は美しい音色に包まれました。4月からマルコの蔵の指定管理者を務める株式会社金山の未来の澤野美香代表取締役は「多くの方にご来場いただき、とても嬉しく思います。今後もマルコの蔵が町内外の方々の交流の場となるよう、さまざまな取り組みを行っていきたいです」と想いを語りました。



青少年健全育成町民大会を開催 町民70名が参加

7月14日、町中央公民館で、町青少年健全育成町民大会が開催され、「SNS時代の青少年をどうするか」をテーマに山形大学加納寛子准教授による講演が行われました。闇バイトや詐欺に巻き込まれないためのポイントとして「一般的に使用されていない専用アプリの使用に警戒すること」「仲間単位で巻き込まれ抜けられなくなり、攻撃性や残虐さが加速すること」等貴重なお話をいただきました。



SUGI☆スターズ始動…… はちまきくらぶと共同活動

6月24日、中高生ボランティアサークル「SUGI☆スターズ」が、ボランティアサークル「はちまきくらぶ」と連携した活動をスタートしました。この取り組みは、はちまきくらぶが高齢者の方へ提供する配食サービスのお弁当へ、SUGI☆スターズのメンバーが手書きのメッセージカードを添え、お弁当と共に真心と笑顔を届ける活動です。ぜひご注目ください。



今年度もガチャガチャグッズ制作を計画中



※昨年度制作した
トートバック

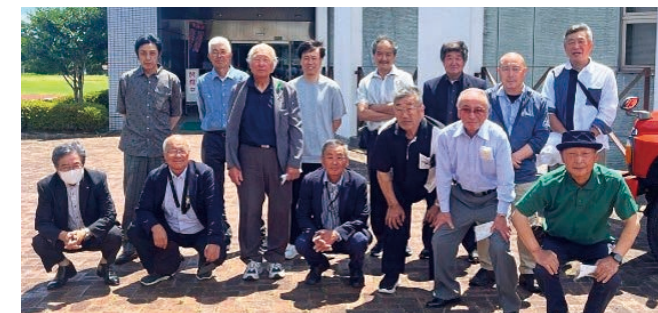
株式会社エコリスが町へ 企業版ふるさと納税

6月19日、金山町役場で株式会社エコリス（宮城県仙台市）から町への多大なる寄付に対する感謝状贈呈式が開催され、佐藤英司町長から藤岡健司代表取締役社長へ感謝状が贈られました。藤岡社長は「町内でのワカタカノ生態調査を機に、豊かな自然や農林業の発展を次世代へつなげたいと強く感じた。今後も環境課題の解決に向けて協力していきたい」と語りました。ご寄付は「森林経営管理・林業振興推進事業」に活用し、自然環境の保全と産業振興を推進します。温かいご支援をいただき誠にありがとうございました。



区長研修を開催…… 安全・安心な地域づくりを目指す

6月21、22日、栃木県防災館（宇都宮市）で、地域の防災力向上を目的とした区長研修が実施されました。研修には区長14名が参加し、過去の巨大地震を再現した激しい揺れや、大型台風に匹敵する風速30メートルの暴風等を模擬体験。最新の防災知識を学ぶとともに、災害発生時の迅速な避難誘導や、日頃の備えの重要性を再認識する貴重な機会となりました。



日本赤十字社より…… 矢口勝さんへ銀色有功章

6月24日、多年にわたり赤十字の活動を支え、貢献してこられた矢口勝さん（宮）に、日本赤十字社から「銀色有功章」が贈られました。矢口勝さんはこれまで協賛委員として平成23年から15年間にわたり、災害救護をはじめとする赤十字事業を支えてくださいました。贈呈式ではこれまでの温かい奉仕活動への感謝と敬意が表されました。矢口さんの長年の功績を称え、今後のご健勝とご活躍をお祈りいたします。



白岩土木建築株式会社 地域への恩返しとして草刈りボランティア

7 月3日、白山神社周辺の公園地(羽場)で白岩土木建築株式会社による草刈りボランティア活動が開催され、約30名が参加しました。この活動は、町の景観を守る目的で数十年前から継続されており、同社の秋保竜平さん(新庄市)は「当社は金山町を中心に仕事をさせていただいている。草刈り活動を羽場地区や地域への恩返しに、今後も続けていきたい」と想いを語りました。白岩土木建築株式会社の皆さん誠にありがとうございます。



▲雨の中、白山神社周辺の草刈りを行う皆さん

神室山の会と中学生が 神室山避難小屋と登山道を整備

7 月5日、神室山で登山道整備と避難小屋の管理作業が実施されました。この活動には、神室山の会メンバー3名のほか、金山中学校スキー部の生徒4名が参加し、トレーニングを兼ねた山頂への荷上げや避難小屋周辺の清掃作業などが行われました。町のシンボルである神室山を守るため、献身的にボランティア活動を行ってくださった皆さんに心より感謝いたします。



▲献身的な作業により、神室山の保全が図られた

阿部豊春さんが生育状況報告 美味しく実った金山町産さくらんぼ

6 月29日、役場副町長室に、金山町産さくらんぼの生産者である阿部豊春さん(荒屋)が来庁され、今年度のさくらんぼの生育状況について報告がありました。阿部さんからは、気象条件に恵まれたことに加え、水はけの良い環境で丹念に栽培できたことが功を奏し、例年以上に色づきや果実のハリが良く、非常に上質な出来栄であるとの報告を受けました。今回の報告は、町産さくらんぼの品質の高さを再確認する貴重な機会となりました。



▲小関啓幹副町長(左)、阿部豊春さん(右)

歴史を刻んだ名車が集結 FAN+TOM RALLY2026

6 月21日、十日町通りでクラシックカーラリー「FAN+TOM RALLY2026 Episode II」が開催されました。ラリーではロールス・ロイス・シルバークラウドⅢやベントレー 4.5Lブローワーなど、約50台の名車が山形市を出発し、天童市のゴールを目指しました。当日はカネカ前で中学生以下の子どもたちへミニカーのプレゼントが行われた他、展示は多くの人で賑わい、歴史的な街並みと名車が調和する貴重な会となりました。



▲街中にずらりと並ぶクラシックカー

小学生が風船灯籠作りに挑戦 第1回かねやまアフタースクール

6 月17日、小学校の体育館で「かねやまアフタースクール」が開催され、61名の児童が参加しました。運動遊びで思いきり汗を流し、風船灯籠づくりにも挑戦。真剣な表情で工作に取り組み、世界に一つだけの個性豊かな作品がずらりと完成しました。この風船灯籠は、金山まつり期間中に役場第2庁舎(旧荘内銀行)で展示される予定です。放課後の楽しい過ごし方を提案するアフタースクールは、今後も定期的に開催します。次回もお楽しみに。



▲体育館で風船灯籠作りに挑戦する児童

東北大会で第3位 伊藤煌珂さんが強化選手に認定

5 月30日から31日に岩手県営武道館で第14回東北少年少女空手道選手権大会が開催され、山形県代表の金山小学校4年伊藤煌珂さん(凝山)が見事第3位の好成績を収めました。今大会の結果を受け、伊藤さんは東北地区ジュニア強化選手に認定されています。伊藤さんは「次回こそは東北3位の壁を破れるように頑張りたい」と力強い決意の言葉を語りました。今後のさらなる飛躍を期待しています。



▲見事3位の好成績を収めた伊藤煌珂さん

金山町役場チームが優勝 第123回金山町社会人野球大会

7 月18日から25日まで、金山町野球連盟(丹正之会長)主催の第123回金山町社会人野球大会(職場・クラブチームの部)が開催され、金山町役場が優勝しました。優勝した役場から最優秀選手賞に須賀来さん(山崎)、打撃賞に土屋悠真さん(羽場)、敢闘賞には準優勝した金多楼ゴールデンイーグルスから高橋佑真さん(飛森)が選出されました。おめでとうございます。なお、9月に第124回大会(地区の部)を開催予定です。



▲優勝した金山町役場チーム

地域×企業の未来を描く・・・ 三枝地区ワークショップ

7 月5日、三枝地区公民館で、山形県が行う「地域・企業共創による関係人口拡大モデル事業」に伴う三枝地区ワークショップが開催されました。会には地区住民約50名が参加し、「将来の三枝が元気になる取組・自分たちが楽しくなる取組を考える」をテーマに活発な意見交換が行われました。今回、出されたアイデアをもとに都市部企業とのマッチングを進め、本年の秋以降に地区と企業の交流事業を予定しています。



▲班に分かれ意見を出し合う地区住民

「選ばれる町」を目指して・・・ 広報戦略策定ワークショップ

6 月24日と25日、金山町役場で町シティブロモーションの推進に向けた「広報戦略策定ワークショップ」が開催されました。ワークショップには課長職を含む町職員約60名が参加し、金山町が「選ばれる町」になるための魅力や課題について洗い出しを行い、活発な議論が交わされました。今後、町民を対象としたワークショップも予定されており、皆さんの貴重な意見を反映させながら、町独自の広報戦略の策定に取り組んでいきます。



▲班ごとに発表を行う職員

首都圏で金山町の魅力を発信・・・ やまがた移住交流フェア

6 月13日、東京交通会館（東京都）でやまがた移住交流フェアが開催され、町まちづくり課職員2名と地域おこし協力隊1名が参加しました。イベントには首都圏から多くの方が来場し、県内各地のブースで交流を楽しみました。金山ブースでは金山町の美しい風景や特産品を収めた写真を展示したほか、パンフレットの紹介などが実施され、約20名が来場しました。多くの参加者に直接魅力を伝え、移住への関心を深める有意義な会となりました。



▲山形県から移住交流フェアに集まった担当職員

手作りメモ帳を作ろう・・・ 子どもたちがエコな工作に挑戦

6 月18日、交流サロンポストで「もったいない文庫×まちライブラリー MOYA」のコラボイベントが開催されました。「昔のメモ帳を作ろう」をテーマに手作りのメモ帳づくり体験が行われ、児童約20名が参加しました。児童らは裏紙に針で糸を通す作業に集中し、楽しみながら古紙の活用を学びました。イベントを企画したMOYAの石井美加さんは「子どもたちが自由な発想で体験を楽しんでくれて嬉しい」と、想いを語りました。



▲石井さんと一緒にメモ帳を作成する小学生

新幹線で新鮮な美味しさを直送・・・ 「はこビュン」で金山の特産品をPR

6 月10日、新庄駅から東京駅の区間で、山形新幹線を活用した荷物輸送サービス「はこビュン」が実施されました。はこビュンは、新幹線の空きスペースを活用して新鮮な地域産品を短時間で都市部へ届ける取り組みで、この日は金山町産の「達者de菜」やさくらんぼ、玉こんにゃくが輸送されました。東京駅で産品を受け取った協力隊の川村佳恵隊員は、「採れたての特産品を多くの皆さんに届けることができ、嬉しいです」と笑顔で語りました。



▲左からJR職員、川村隊員、ニラ農家丹裕之さん、美杉ちゃん

宝くじの助成金を活用・・・ 安沢地区の備品を整備

7 月6日、安沢地区において、一般財団法人自治総合センターの「令和8年度コミュニティ助成事業」を活用した備品整備が完了しました。本事業は、宝くじの受託事業収入を財源として実施している社会貢献事業で、この度の助成金により安沢囃子若連が使用する和太鼓の修繕や、座椅子等の整備が行われました。新しい備品が揃い、安沢地区の地域活動や地域コミュニティが今後ますます充実していくことを期待しています。



▲助成金を活用して整備した和太鼓、笛、鐘、椅子

講談教室で伝統芸能を体験・・・ 町民約200名が参加

7 月14日、中央公民館に日本講談協会の神田紅さんをはじめ3名の講談師の方々をお招きし、「講談教室」が開催されました。会には小学校5・6年生や、中学生をはじめ町民約200名が参加し、講談を聞いた小中学生は、独特のリズムと迫力ある口調や釈台を叩く「張扇」のパンという音が響くたび、物語の世界に引き込まれていました。講談体験では、小中学生が講師になりきって話をするなど、伝統芸能を身近に感じることができました。



▲左から神田紅佳さん、佐藤徂夢さん、佐藤蓮玖さん、神田紅さん

第76回社会を明るくする運動・・・ 保護司が町長へメッセージを伝達

7 月1日から7月31日にかけて全国で「第76回社会を明るくする運動」が実施されました。犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築き、地域全体で立ち直りを支える気運を高めるため、7月1日には金山保護司会の柴田久子さん（七日町）、藤山一栄さん（羽場）、丹喜久雄さん（荒屋）が来庁し、佐藤英司町長に運動への協力依頼と内閣総理大臣からのメッセージを伝達しました。



▲左から柴田さん、佐藤町長、丹さん、藤山さん